
大好きの一言が言えれば・・・

春崎やよい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大好きの一言が言えれば・・・

【Zコード】

Z6776E

【作者名】

春崎やよい

【あらすじ】

本編を読んでいただければ、分かります！今は、今までとは違っています！

私は、あなたが好きだった。あの日まで

夏休みに入る前、私はある人に告白をしようと思っていた。だつて、そうしないと二学期までずっと、お預けになってしまふから

教室を出て、まっすぐに彼の教室・一年三組に向かつた。放課後という事もあって、人は誰も残つていなかつた。絶好のチャンスだと思つていた。

彼の教室に行つて見ると、中から話し声が聞こえてきた。誰だろうと中を覗いてみると親友の輝がいた。何をしているのか、そこから見ていた。

「あの！私、前からあなたの方が好きでした！！」

輝の顔は、赤くなつていた。その相手とは、知りたくもない相手、私の好きな人だつた。

どん底に落とされた。親友の輝も、好きだつたなんて知らなかつた。しかも、輝の手には、ある包みを乗せていて。あれは・・・。

この前、作ったクッキーだ。

つい先日のこと。

朝、一緒にクッキーの材料を買ってお昼に作った。私は、輝に聞いたら、誰かに上げるのと聞いた。

「うん、そうだよ。」

と、嬉しそうな顔で言った。

まさか、その相手が和也だつたなんて、知らなかつた。

親友の輝に裏切られていたなんて、信じたくもなかつた。

和也は、それを受け取るのだろうか？

「ごめん、好きな人がいるから」

え？

わが耳を疑つた。

今、はつきりと聞いた、和也の言葉。

好きな人がいる

輝じやなくて、他の人に好きな人がいるつてことだよね？じゃあ、まだ望みはあるんだ。

良かつたあ。

心の底から、喜べた。輝に取られなくて良かつた。

「そう。良かつたじやん！聖」

輝は、教室の外にいる私の名前を言つた。

え、気が付いていたの？

廊下でうろたえている私のところに輝が着た。

それに私は、また驚く。

え？どういうこと？

うまく言葉が出てこない。口は、パクパク動いているだけ

「何？私が気が付いていないとでも思った？」

輝は、ニヤ付いた笑みを私に向けていた。

じゃあ、最初から私が此処にいるつて分かつていてあんなことをしたの？

聞いちゃいけないことだと思って、黙っていた私を見て、輝は、遠まわしに言つた。

「聖がここにいるつて事を知つていて、さつきのことをした。彼に協力してもらつてね！」

じゃあ、和也くんも知つていたの？

此処にいる意味、ないじやんつて頭を抱えそうになつていた。その場に私は、へたり込んだ。

「コラコラーへたり込みないの！愛しの和也君が見てるんだから！ね？」

輝は、私の腕を掴んで立ち上がらせた。

そうだ。和也くんが見ているんだ！しつかりしないと！

輝が私の瀬を押してくれた。

「和也くん、これ受け取つてもらえますか？」

「はい！聖さん」

渡せたあ！

そして、想いの丈をぶつけてみることにした。

「一目見たときから、好きでした！付き合つてくれますか？！」

暫しの沈黙。私は、それが長く感じた。

「はい、喜んで！」これからも、宜しくお願ひしますね！聖さん

こうして、私たちは付き合つことになった。

輝に、ありがとうと言わなくちゃ！

(後書き)

今回の小説は、恋愛です！楽しめていただければ、幸いです。
なぜ、今回こういう小説を書いたかといふと、今までとは違った面
を読者の皆様に知つていただきこうと思いまして、こういう小説を書
いて見ました。

多分、気づいていると思いますが・・・
聖は、あるところから取りました。それを知つてはいる方！是非是非、
お願ひします！！！
評価・感想・ダメだしお願いします！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6776e/>

大好きの一言が言えれば・・・

2010年10月21日21時44分発行